

2024年 第85回応用物理学会秋季学術講演会（新潟）

新宇宙時代に求められる スペースフォトンクス

Space photonics for the new space age

9月20日(金)午前

これからの宇宙開発では、民間企業が技術開発の中心となっていきます。このシンポジウムでは、レーザを用いた衛星インターネット、宇宙光通信、デブリ除去など、フォトンクスを利用する宇宙ビジネスとその開発上の課題に焦点を当てます。多岐にわたるフォトンクス技術者が集い、地上と宇宙の技術連携による新たな可能性を探ります。

招待講演者

丸山真幸、福島忠徳（Orbital Lasers）

「レーザを利用した宇宙事業—デブリ除去とライダー地球観測—」

和田智之、斎藤徳人、小川貴代（理化学研究所）

「超短パルスレーザを用いた宇宙デブリの除去」

原口英介（三菱電機）

「衛星間光通信の最新動向とフォトンクス技術」

門脇亮太（アクセルスペース）

「光通信等の衛星コンステレーション基盤技術」

高山佳久（東海大学）

「衛星地上間光通信の最新動向と光照射の安定化技術」

青柳 賢英（福井大学）

「光デバイスの迅速な宇宙実証を行うCubeSatの技術」

世話人：高橋和（大阪公立大学）、望月敬太（三菱電機）